



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内
電話 0774-22-3141 (内線2057) FAX 20-8776
E-mail BCH04550@nifty.com ホームページ <http://homepage3.nifty.com/uifa/>

第 35 号

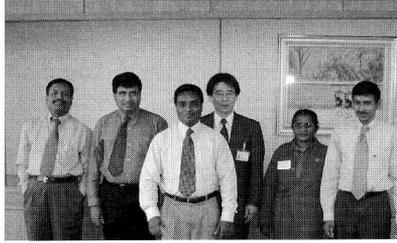
平成15年(2003年)3月

友好都市又ワラエリヤ市からバラさんが来訪

去る二月七日(金)に、宇治市の友好都市であるスリランカ民主主義共和国又ワラエリヤ市のコミッションナー

(国から地方自治体に派遣されている助役相当職)のS・バラスブラマニアムさん(バラさん)をはじめとする、同国の地方自治体職員一行五人が、宇治市役所を来訪訪問しました。

* * * * *
バラさん一行は、我が国の国際協力事業団(JICA)が実施する、発展途上国からの研修員受け入れ事業で、環境行政の研修を受けるため、一月六日(月)に来日。二月二十四日(月)までの間、日



本各地への視察も行いながら、名古屋を中心に研修を進めていました。

この一環として、二月六日(八日)には、京都市の清掃工場などを視察するため上洛。宇治市が、バラさんの勤務先である又ワラエリヤ市と友好都市であるところから、宇治市役所を来訪訪問したもので、又ワラエリヤ市長からも、両市の友好交流のためにぜひ彼と会って欲しいとの連絡が、事前に久保田市長に届いていました。

表敬訪問では、川端助役が一行を迎え、「皆さんを歓迎します。日本とスリランカは極めて友好的な関係にあります。宇治市と又ワラエリヤ市とは友好都市盟約を結んでおり、早く両市が友好交流できる環境に戻って欲しい」とのあいさつとともに、一人ひとりにお土産を手渡し、又ワラエリヤ市長への久保田市長の親書とお土産をバラさんに託しました。

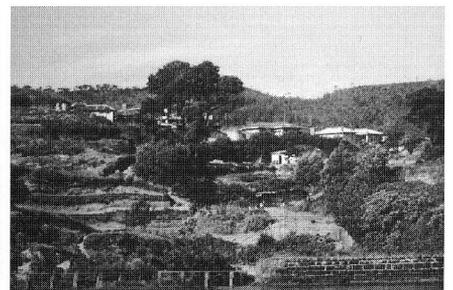
バラさんからは、「又ワラエリヤ市のカルナラトネ市長

は、宇治市との友好交流を心から希望しています。又ワラエリヤ市には広大な茶園があり、緑が多く、素晴らしい街です。ぜひ来てください。宇治市を訪問できた上にこのように歓迎してもらい、感謝しています」とのあいさつがありました。

その後、一行と川端助役とは、一行が表敬訪問前に立ち寄った平等院や市営茶室の印象、それぞれの出身自治体の紹介などの話を花を咲かせ、交流を深めました。

* * * * *
宇治市と又ワラエリヤ市とは昭和六十一(一九八六)年四月に友好都市盟約を結び、友好交流を続けてきましたが、スリランカ国内の武力紛争が激しくなり、宇治市から訪問団を派遣できる環境ではなくなりましたため、平成五(一九九三)年に宇治市公式訪問団が同市を訪れたのを最後に、それ以降は宇治市の公式訪問団は同市を訪れていません。

しかし、昨年二月に同国政府と反政府組織の間で無期限



▲ 又ワラエリヤ市の茶園風景

停戦が合意され、和平会談も進んでいるところから、宇治市では今後、そうした情勢の推移を慎重に見極めながら、友好交流の再開に向けた同市との協議や検討を進めたいとのこと。なお、同市との盟約は、宇治市が海外都市と結んだ最初のもので、これは、同市はセイロン紅茶で有名なスリランカの中でも高級茶の産地として有名であるところから、高級日本茶の産地である宇治市と、「茶」が縁となったものです。

【写真・上】スリランカからのお客様と川端助役。向かって左から三人目が、又ワラエリヤ市コミッションナーのバラさん

宇治市内留学生探訪ツアー

当協会の恒例事業として定着した「宇治市内留学生探訪ツアー」が、平成十四年十一月二日(土)、三日(日・祝)に開催されました。

これは、宇治市内とその近郊に住む外国人留学生に宇治市を紹介し、宇治市内の家庭にホームステイすることで交流を図ることを目的とし、今年度で三回目の実施になりました。留学生は、黄檗山萬福寺での座禅体験やスタンプラリー、源氏物語ミュージアムを見学した他、宇治市内のホストファミリーと楽しい時間を過ごしました。ご協力いただいたホストファミリーの皆様、本当にありがとうございました。

ウジはとても美しい街です！このプログラムで日本の文化を学ぶことができました。(ドイツ)

○今回のホームステイは私にとって凄くいいチャンスでした。本当によかったと思います。きれいな景色を見たりいろいろな新しい友達をつくることができました。

もしチャンスがあったら是非もう一回行きたいです。(中国)

○ホストファミリーと彼らの親切なもてなしを考えると、それを表現する言葉が見つかりません。彼らは本当にすばらしい人達で、もてなしも素晴らしかったです。ありがとうございました。(スーダン)

○私のホストファミリーの人はとても親切でした。とても素晴らしかったです！(台湾)

○もう一人の留学生が日本語を話すことができたので、主に日本語での会話になり、あまり理解することができなかつたが、ホームステイはとても素晴らしかった。(カナダ)

○家族は皆親切でいろいろなお世話になりました。(台湾)

○この家族を紹介してくださってありがとうございました。彼



▲ 宇治市役所前にて

らはとても親切で、私は日本の人々、日本人の普段の生活を学びました。私たちは、素敵な時間を共有しました。彼らはよい友人です。(ペルー)

○ホームステイをしたのは初めてでしたが、とても楽しかったです。私はホストファミリーがとても好きです。彼らは、私をとてよく世話してくれました。(フィリピン)

○ホストファミリーは一晚私がある間、本当にフレンドリーで親切でした。もっと日本人の生活を知りたいと思います。(中国)

○とても親切でした。もう一度会いたいです。(フランス)

切手で見ると友好都市

皆さんは切手に興味をお持ちですか？外国の切手にも日本のものと同様、特徴のある様々な絵や写真描かれています。今回は友好都市3都市と日本の切手を比較してみました。

* * * * *

スリランカ：
ジェームス・テイラー



1867年にコーヒー栽培のためスリランカに来ていたスコットランド出身のジェームス・テイラーが最初に茶を植えたことからスリランカの茶の栽培が始まりました。



中国：陳其尤
中国致公党(中国共産党八党派のうちの一つ)の初代中央

委員会主席。致公党は、1925年10月に創設され、帰国華僑およびその親族を主体とする民主党派です。

カナダ：エリザベス2世



カナダはかつてイギリスの植民地でした。そのため、現在でもカナダとイギリスの結びつきは強く、貨幣などでもイギリス国王エリザベス2世の肖像が描かれています。



日本：上村松園

京都に生まれ、1948年、女性として初めての文化勲章を受章。京都の風俗、歴史、謡曲の物語などを題材とした気品ある美人画を描きました。

○ホストファミリーは親切で、やさしくて、私たち外国人に対してとてもオープンだったので、とても素晴らしかったです。(ネパール)

○日本の家族と生活するといふ体験をおして、いろいろな違いを学ぶことができました。(ネパール)

○友達になりました！(フランス)

○ホストファミリーは世界で一番親切な家族だと思います。私は日本で再び家庭の雰囲気を感じることができました。親切なお父さん、面白いお母さん、きれいなお姉さんと一緒に大変楽しい週末を過ごしました。ラッキー!!! (中国)

日本・ラオス 友好交流の動き進む

【ラオス紹介】

ラオス（ラオス人民民主共和国）はインドシナ半島の中部にあり、中国、ミャンマー、タイ、カンボジア、ベトナムの5カ国と国境を接し、日本の本州ほどの広さ（23万6800km²）を持つ内陸国です。国土の70%を高原や山岳地帯が占め、原生林の中をメコン川が1900kmにわたって流れています。

人口は約520万人、首都はビエンチャン。熱帯モンスーン気候に属し、民族の数は68とも言われ、独自の文化を育ててきました。

1975年、ラオス人民革命等により王制を廃止し、現在のラオス人民民主共和国を無血で樹立。かつては、インドシナの戦火に巻き込まれ、今もまたアジアの経済危機の影響をストレートに受けたラオスは、海外からの経済援助に頼っていますが、そこに暮らす人々の心は常に豊かで、微笑を絶やしません（以上、ラオス政府観光局ホームページより抜粋）

* * * * *

また、ラオスは、山と川に囲まれ、多くの仏教寺院を擁し、古い

歴史と近代化との間で醸成された独特の景観を有し、「町」としてはじめて世界遺産の指定を受けたルアンパバーンを代表に、基幹産業の一つとして観光振興施策をとっている一方、最貧途上国の一つとして数えられており、日本国政府も積極的に支援に取り組んでいます。

* * * * *



▲ ラオスを流れるメコン川の風景

【宇治市日本ラオス友好協会の 会員募集中】

宇治市においては、市内の宗教法人が同国の小学校建築支援活動等の教育振興支援に取り組まれているのを契機に、世界遺産のある宇治市との友好交流を求める同国の要望に応じて宇治商工会議所の皆さんが同国を視察されるなど、ラオスとの友好交流の推進に向けた機運が高まっています。

当協会の上林会長も「市民レベルでの海外友好交流が、友好都市盟約を締結している3都市にとどまらず、独自の活動として、より多くの国々へと広がることを期待しています」と話されています。

こうしたことから、現在、ラオスをより深く理解し、ラオスの人々との友好を深める活動に参加していただく皆さんで組織する「（仮称）宇治市日本ラオス友好協会」を設立する準備が進められており、宇治商工会議所を窓口にして、個人・団体・法人の会員募集が行われています。

* * * * *



▲ ワット・プー遺跡

入会には、個人（市内在住か在勤）は1口・2,000円以上、団体は3口・6,000円以上、法人は5口・10,000円以上の年会費の納入が必要で、発足後は、ラオスとの文化・学術・技術・スポーツ等広い分野での相互友好交流、両国の歴史・文化の理解等を深める研究や紹介などの事業を進めていく予定です。

なお、設立総会は、4月24日（木）午前10時から宇治市産業会館で開催される予定です（当日の入会申し込み可）。

詳しくは、宇治商工会議所総務課・中野さんまでお問い合わせください（電話：23-3101）。

会費納入のお願い

平成十四年度の会費の納入をお願いします。当協会の運営は皆様の会費によって成り立っています。会の運営や活動を活発にするためにも、どうぞよろしくお願いします。

会費

- 個人会員 二千元
- 団体会員 五千元
- 法人会員 一万円

振込先

京都銀行
宇治支店・普通預金
678459

* 受取人は『宇治市国際親善協会』です。

内気の帽子を脱いで コミュニケーション!

平成十四年八月にAET（英語指導助手）としてやってきた四人の先生が、全員来年度も宇治市のAETとして市内の小中学校で英語を教えてくださることになりました。そこで、この一年を振り返って感じたことや考えたことなどをレポートにまとめていただきました。今回は、二年前に宇治市にやってきたケビン・ウォーカーさんのレポートです。

二年目の日本！

日本の京都、宇治市で私がAETとして働いて二年目になります。一年目は、驚きや初めての体験、そして新しい友達との出会いにあふれていました。昨年は、日本語を何も知らずに（カナダと日本の）変化をくぐり抜け、ぎりぎり最小限のことを学んだ年でした。

今年には会話能力を得るために、「日本語で何とかやっていく」というハードルを克服しようとしています。多くの日本のみなさんは私としゃべることに興味をもってくれています。以前は恥ずかしくてあまり話そうとしてくれませんでした。私が（少し）日本語を話せると知ると、人々

ることを学びました。私はコミュニケーションの概念においては、適切な文法、ましてや正しい語彙を知っていることよりも、笑顔や礼儀、ジェスチャーがいかに大切であるかということを学びました。誰かの言葉の10%でも理解できれば、それは90%を理解するよりもむしろ、漠然とした意味を把握するのには十分なこともあるのです。

あいにく、友達の前で「一か八かやってみる」気持ちになることは難しいことです。（誰しもが皆、「一か八かやってみる」ことは「恥ずかしい思いをする」ことだと思っています）私の生徒たちは、私の言っていることを90%またはそれ以上理解した時のみ質問に答え、私がコミュニケーションをとるのに必要だと学んだ10%の理解では答えようとしません。私は、自分の生徒や誰に対しても、「内気な帽子」を脱ぎ、とにかく挑戦すれば90%の成績をとることができると信じて彼らを勇気づけています。

は興奮し、ものすごい勢いの日本語で質問をなげかけることがよくありました。（この後私はこう言います。「モウイチド、ユックリイッテクダサイ！」）
私は、私の日本語よりも上手に英語をしゃべる人々と知り合うことがよくあります。でも、コミュニケーションを妨げるのは言語における実践的な技術ではなく、彼らの内気な性格なのです。新しい国に住む外国人として、私は限られた言語能力（さもなければ私はトイレを見つけることも、レストランで声をかけることも、正しい駅で降りることもできなかつたでしょう！）を使って内気な性格を克服す

「英語」は科学ではありませぬ。コミュニケーションの規則は、感情や表現力によってしばしば破られます。そして練習や勇気、冒険の精神を必要とします。しかしまた、やりがいのあることで、積極的な態度で臨めば楽しくもなるのです。「英語」という言葉を「日本語」や「日本の生活」「海外での生活」に置き換えてみてください。そうすれば、私が今年学んだいくつかがことがどんなことか分かるでしょう。

皆様の記事をお待ちしています!!

当協会では、一層充実したUIFAニュースの紙面作りを目指していきたくと思っています。会員の皆様が実施されますイベントや事業の案内なども掲載します。国際交流に関することで掲載してほしい記事などがありましたら、当協会までお寄せください。（事務局）



十五年度のカリブ大学市民留学生二人が決まりました。

これは、宇治市とカムループス市の友好都市盟約締結五周年を記念して、同大学が設けた制度で、宇治市が推薦する二人の市民留学生には、同大学の入学金と一学期（五月～八月）の授業料が免除されます。

この募集には毎回、女性からの応募が多く、今回も、一人の応募者中十人が女性でした。

毎年八月の宇治市中学生カムループス市派遣事業の場合も例年、女子生徒からの応募が圧倒的に多くなっています。この世代の男女の数は、ほぼ同じはずなのに、この原因は一体何でしょう。

もしも、新しい世界に好奇心を向けるよりも、今の自分の世界だけで良しとする心情が、こうした背景にあるのなら、極めて残念なことだと思います。世代や性別に関わりなく、自分の世界を広げようとする積極性を、常に発揮したいものです。（橋本）